

新年

年頭あいさつ



町長
佐藤 晴彦

あけましておめでとうございませう。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、横芝光町は、誕生して10周年の節目を迎えることができました。これもひとえに町民の皆さまの町行政運営に対するご理解とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、町のシンボルである栗山川に念願であった北清水地域と長塚地域を結ぶ清長大橋が開通いたしました。これにより、地域間の交流の促進が図られるものと考えて

おります。

また、教育環境の整備につきましては、南条小学校屋内運動場の完成により、学校施設の耐震化が完了し、子育て支援として、児童クラブ待機児童の解消に向け、新たに横芝小学校第2児童クラブと白浜小学校児童クラブの運営を開始したところであります。その他総合計画に掲げた事業も概ね順調に進捗しております。

町創生につきましては、人口減少の克服、地域経済の維持、活力ある地域産業の発展を目指し、「横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策が本格的にスタートいたしました

した。さらに、千葉大学の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の重点モデル地域となり、千葉大学の地方創生推進の拠点としての機能を備えた「横芝光町ロカルハブ」が設置されました。千葉大学との連携により、若者が魅力を感じる産業や仕事、そして観光を創り出したいと考えています。

空港株式会社による住民説明会を開催させていただいたところです。今後も町民の皆さまのご意見を尊重し、将来をしっかりと見据え、町民の幸せと町の発展のため、熟慮を重ね慎重に対応してまいりたいと考えています。

そうした中、昨年9月の成田空港に関する四者協議会において、第3滑走路の整備や夜間飛行制限の緩和など成田空港の更なる機能強化案が示されました。アジアにおける厳しい空港間競争や今後の日本経済の発展と空港周辺地域の活性化など機能強化の必要性は理解できるものの、騒音地域の拡大や運航可能時間の延長と発着回数増加による騒音の増加など、当町への影響は非常に大きいものであり、10月には、成田国際

「栗山川の流れがはぐくむ人・自然・文化が共生するまち」協働のまちづくりの実現に向け、町民の皆さまと心ひとつに、夢と希望を持ち、安心して住むことができ、住んで良かった実感できるまちをつくるため、全力を傾注し努力してまいりますので、皆さまにはより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。